



介護ロボットを導入する「かしま荘」



**A** 宮川 健康福祉課長

特別養護老人

ホームかしま荘  
が、国の地域介護・

福祉空間整備促進事業の交付金を受けて導入する。

**Q** 坂本 あや議員

導入するロボットはどのような機能を持ったものか。

**A** 宮川健康福祉課長

この介護ロボットとは、いわゆる二足歩行のロボットではなく、入居者の睡眠、覚醒、起き上がり、離床などをパソコンやモバイル端末で一括管理するトータル的なシステムのこと。

## 佐賀北部の直販所建設と 若山楮（こうぞ）作業棟新設へ

■佐賀北部の集落活動センター直販所建設、若山楮（こうぞ）作業棟新設工事関連費用 2111万円



**A** 矢野 地域住民課長

直販所の建設場

所は、現在、集落センターとなつて

いる旧拳ノ川保育所の一部を改修等して直販所にする。

また、若山楮の作業場等の工事は、佐賀橘川に楮を原料とした和紙の加工を一体的に

できる作業場を建設するもの。

**Q** 宮地 葉子議員

この佐賀北部の直販所の場所はどこか。

また、若山楮への補助の内容は。



毎月第2・第4土曜日に「土佐佐賀温泉こぶしのさと」駐車場にて開かれている「さが谷三里マーケット」。遠方からのお客様も多いとのことで、この日も賑わっていました。



直販所としても活用される集落活動センター佐賀北部

**A** 松田 副町長

去年からスクー

ルバスの委託契約が、貸切バスとす

るとかなり高くなる。バスを提供し、運転手の委託をすれば、安い金額でスクールバスの契約ができる。研修バス規則の改正はしていない運用で行っている。研修バスのなマイクロバスの購入も検討している。

■ふるさと創生事業研修バスの修繕料・車検料他

68万円

廃車予定の研修バスを修繕し、スクールバスとして再利用を図るもの。

**Q** 藤本 岩義議員

このバスは、もとはふるさと創生事業として、町内外での研修に活用し、町民の知識やそういうものも高めていくためのバスだ。廃車とか他の目的に使うとなると、規則の改正が必要。目的外に使用であれば、ここのふるさと創生事業での支出はおかしい。



スクールバスとして利用されている研修バス

■身体障がい者援護費

80万円

心身障がい児者福祉手当の支給対象者拡充に伴う経費。